

# 授業改善シート〔国語〕

校番(30) 福山市立新市中央中学校

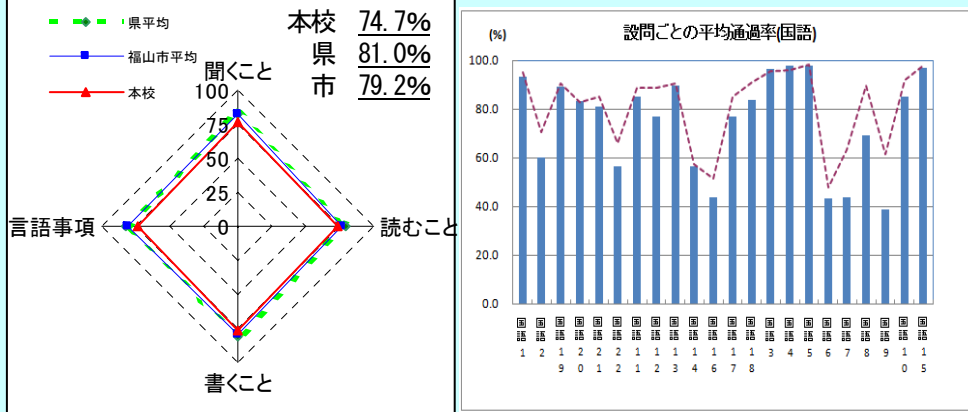
## 昨年度課題

- ①読むことにおいて、文章の展開の把握に課題がある。  
(通過率 35.6% 県との差-6.9%)
- ②読むことにおいて、文脈上の語句の理解に課題がある。  
(通過率 37.0% 県との差-4.3%)

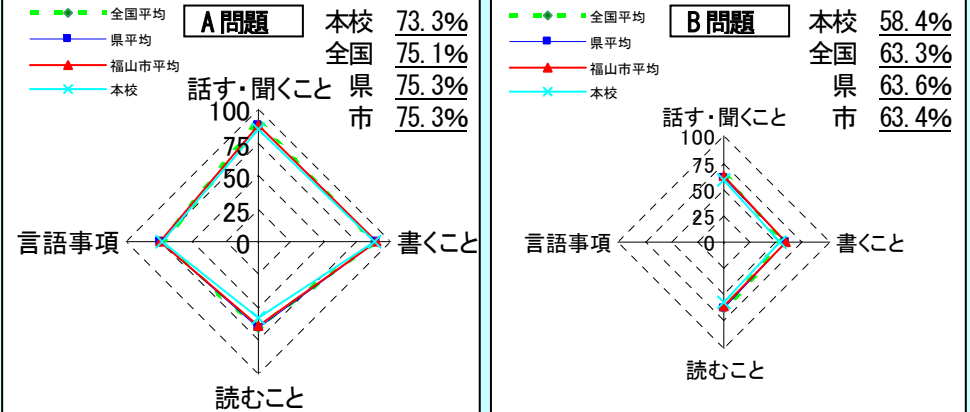
## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①説明的文章や文学的文章の語句やキーワードの丁寧な読み取り指導と文章全体の構成を把握する指導を継続して行う。
- ②新聞の「コラム」を読む取り組みをし、文章の展開や文脈を捉える力を伸ばす。  
《本年度の目標値 通過率を前年度比、+2%以上にする。》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎提示してある述語に対する主語を記号で答える。〔主語述語の関係〕 (通過率 43.7% 県との差 -19.5%)
- ◎段落の役割を記号で選び記号で答える。〔段落相互の関係の理解〕 (通過率 43.7% 県との差-7.8%)
- ◇物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書く。(通過率 48.9% 県との差-11.5%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

### 【国語科】

- ①授業の読み取り作業の中で、文法的な事項に関する指導を学期に1回以上行う。
- ②説明的文章や文学的文章の語句やキーワードの丁寧な読み取り指導と文章全体の構成を把握する指導を学期に1回以上行う。
- ③授業や試験に登場人物の心情把握やそう考えた理由の記述問題を多く取り入れる。

### 【全校・他教科等】

- ①生活ノートの記入にあたって、「題」を与え、出来事や自分の思い・意見をまとめ、全体の構成を考えて4行に記述させる取り組みをする。

## 取組みの検証

- 時期 1月後半 ○目標値：通過率65%以上
- 方法：福山市調査問題

## 来年度の目標値

- 通過率を今年度比、+5%以上にする。

# 授業改善シート〔数学〕

校番(30) 福山市立新市中央中学校

## 昨年度課題

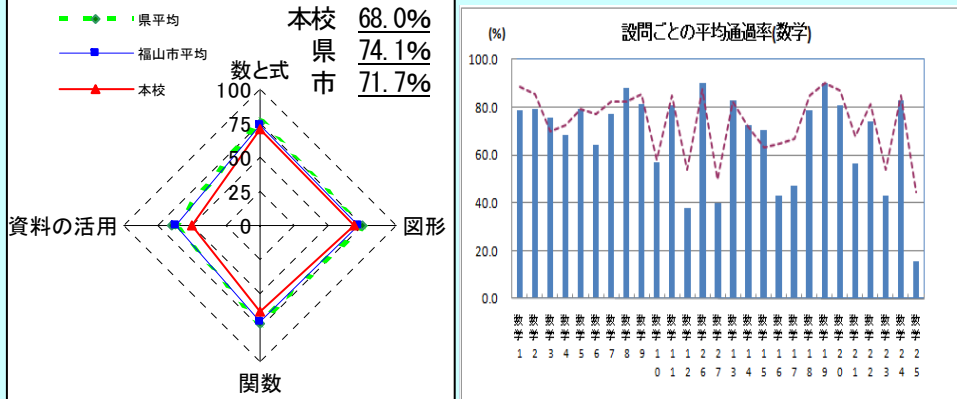
- ①資料の活用において、相対度数の意味を理解していない。  
(通過率 29.6% 県との差-7.0%)
- ②数と式において、1次方程式の立式ができていない。  
(通過率 56.3% 県との差-6.6%)

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

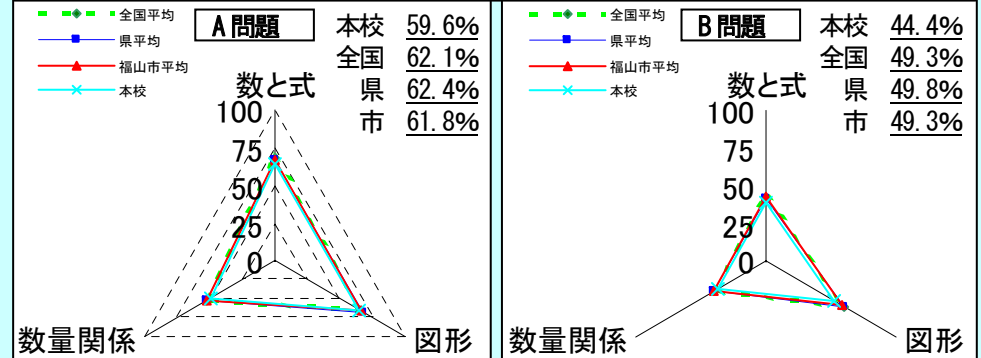
- ①基本的な問題を反復練習させる。
- ②方程式の立式をレベルに合わせて、週1回取り組む。
- ③授業前に基礎練習を繰り返す。家庭学習の定着をめざす。

《本年度の目標値 通過率 前年度比+2%》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎度数分布表で、階級の相対度数を求める。  
(通過率 15.6% 県との差-29.2%)
- ◎角柱の水を角すいに入れたときの割合を選ぶ。  
(通過率 43.0% 県との差-21.8%)
- ◎1次方程式の立式ができる。  
(通過率 37.8% 県との差-16.0%)
- ◇ボールの入った回数の最頻値を求める。  
(通過率 30.0% 県との差-12.3%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

### 【数学科】

- ①資料の活用についての学習を日常と関連付けて扱い、実感をもたせるとともに、相対度数の意味、最頻値、中央値など用語の意味をしっかりと理解させる。
- ②角柱や角すいの模型を各自で作成させ、ひとりひとり実験をすることで角柱の体積は角すいの体積の3倍であることを実感させる。
- ③文章をしっかりと読み取らせ、ことばの式や図で表すことで、等しい関係をはっきりさせて立式させる。

### 【全校・他教科等】

- ①授業でしっかりと考えさせ、考えたことを書き、自分の意見をはっきり表現させるような言語活動を仕組む。

## 取組みの検証

- 時期 1月後半 ○目標値 通過率65%以上
- 方法：福山市調査問題

## 来年度の目標値

- 通過率を今年度比、+5%以上にする。

# 授業改善シート〔英語〕

校番(30) 福山市立新市中央中学校

## 昨年度課題

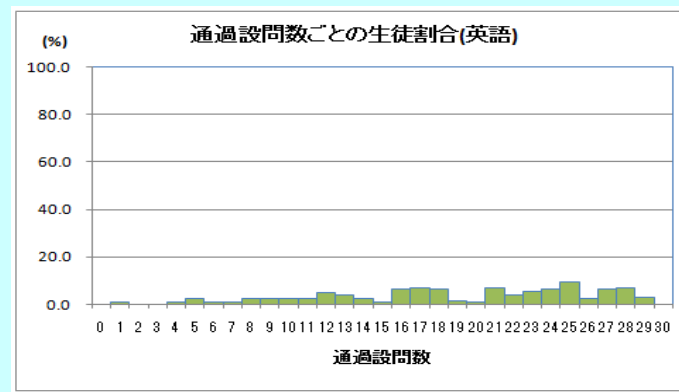
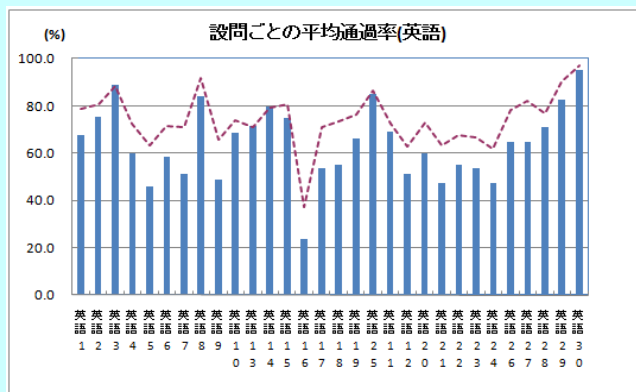
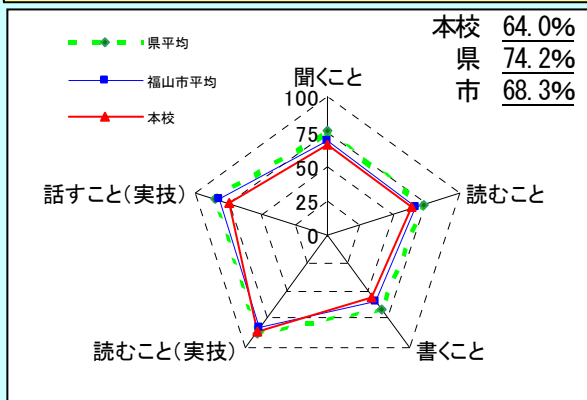
- ①書くことにおいて、つながりのある英文を書くことに課題がある。  
(通過率 47.4% 県との差-14.0%)
- ②聞くことにおいて、概要や要点の把握に課題がある。  
(通過率 27.4% 県との差-29.5%)

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①英文を書く力をつけるため、動詞の単語リストを作り、学期に1回テストを行う。
- ②ALTとの授業の中で、会話、長文読みの後にQ&Aを継続して行い、定期試験で聞き取り問題を出題する。

《本年度の目標値 通過率 県平均の-3%以内》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎聞くことにおいて、概要や要点【曜日・日付】を把握する。  
(通過率 51.2% 県との差-19.7%)
- ◎聞くことにおいて、会話の内容を理解する。  
(通過率 45.7% 県との差-17.8%)
- ◎読むことにおいて、話の内容を理解し、それに合う絵を選ぶ。  
(通過率 55.1% 県との差-18.3%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

- 【英語科】
- ①毎日の授業やALTとの授業のなかで、クラスルームイングリッシュを徹底し、英語を話す機会を増やす。
  - ②授業は70%以上英語で行う。
  - ③家庭学習で音読練習を取り入れ、授業で評価する。さらに、教科書のReading for CommunicationやLet's Readを使って、その内容を問う問題を解く練習をする。
- 【全校・他教科等】
- ①音読と練習ノートの家庭学習を徹底させるために、担任と連携をとりながら進めていく。

## 取組みの検証

- 時期 1月後半 ○目標値 通過率 65%以上
- 方法：福山市調査問題

## 来年度の目標値

- 通過率を70%にする。

# 授業改善シート〔理科〕

校番(30) 福山市立新市中央中学校

## 1 教科学習

全国学力・学習状況調査 本年度正答率		重点課題	
<p>                     全国平均                      県平均                      福山市平均                      本校                 </p> <p>                     1物理                      100                      75                      50                      25                      0                      2地学                      1科学                      2生物                 </p> <p>                     本校 46.1%                      全国 51.0%                      県市 50.2%                      市 50.1%                 </p>	<p>◇白熱球とLED電球で、省エネの効果と比較する実験を考える時に、必要な条件を選ぶことができていない。(県との差-18.8%)</p> <p>◇「特定の質量パーセント濃度の水溶液をつくる」という技能が身についていない。(県との差-9.1%, 無回答率25.8%)</p>		

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)	取組みの検証
<p><b>【理科】</b></p> <p>①科学的な思考・検討・改善の根拠が知識を活用して説明できる設問を定期試験で出題する。</p> <p>②公式を用いて計算する問題の練習を繰り返しおこなう。</p> <p><b>【全校・他教科等】</b></p> <p>①身近な事象について身に付けた理科の知識・技能を、日常生活や授業で活用できる場面を設ける。</p>	<p>○時期 2月(1, 2学年)</p> <p>○方法 CRTによる学力定着度診断</p> <p>○目標値 70%</p>

## 2 理科学習への意識

理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	生徒の回答と学校の指導についての課題	授業改善の方向性や具体的な取組み
<p>                     新中                      旧中                      他校                 </p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>◇理科の授業で、観察や実験の結果をもとに予想したことを授業で考察する時間が十分でなかった。</p> <p>◇理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画をたてさせることが少なかった。</p>	<p>・結果の予想をたてて、授業で発表する場を取り入れ、意思表示が出来るようにする。</p> <p>・基本的科学用語をもちいて実験のまとめができるように、レポートの指導を行う。</p>